



ID: 1433

科目名	社会福祉援助技術論 I 【26年度生用】			コード			
英語表記	Social Work I						
担当教員名	田中 浩二			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態			
授業概要							
本講義は、社会福祉士国家試験科目の「相談援助の基盤と専門職」(Professional basis of Social Work Practice)の内容の基礎部分にあたる。社会福祉士の役割と意義、精神保健福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、相談援助の理念、相談援助における権利擁護の意義と範囲、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理、総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。							
到達目標							
社会福祉士の仕事、活動の基盤となる考え方に関する基礎的な知識を習得するとともに、学生各自がソーシャルワークや援助について考えることができる力を身につける。抽象的な概念の理解が必要で、難しく感じるかもしれないが、繰り返し学ぶことで各自が自分のことばに置き換えて考察できるようになることを期待する。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション 授業の進め方、履修上の注意、評価の方法などを説明						
第2回	社会福祉士とは 日本における社会福祉士						
第3回	社会福祉士の役割と意義①						
第4回	社会福祉士の役割と意義②						
第5回	精神保健福祉士の役割と意義						
第6回	相談援助の概念と範囲①						
第7回	相談援助の概念と範囲②						
第8回	相談援助の理念						
第9回	相談援助における権利擁護の意義						
第10回	相談援助に係る専門職の概念と範囲①						
第11回	相談援助に係る専門職の概念と範囲②						
第12回	専門職倫理と倫理的ジレンマ①						
第13回	専門職倫理と倫理的ジレンマ②						
第14回	総合的かつ包括的な援助と他職種連携(チームアプローチ)の意義と内容						
第15回	まとめ 振り返り						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
定期試験によって評価する。60点以上を合格とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				5%		95%	
授業外学習			テキスト、教材				
			大島侑・佐々木正人編著『社会福祉援助技術論』ミネルヴァ書房(1999)本体 ¥2,400				
参考書			受講生へのメッセージ				
授業の中で紹介する。			抽象的な概念の理解に困難を感じるかもしれないが、気になったことばなどから、自分で、友人と一緒に考えてみる機会になればと思う。				
キーワード							
社会福祉士, 相談援助, 専門職							